

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

■現代社会学部 現代社会学科

五十音順

科目名	区分	履修年	単位数	担当教員	授業科目概要
経営戦略論	専門	2	2	伊藤 葵	長期的かつグローバルな視点で戦略的な日本独自のM&Aをアドバイスする会社に所属していた経験を踏まえ、経営戦略論における基礎的な概念や理論に基づき、経営環境分析、企業戦略、事業戦略、機能別戦略等について学ぶことができる講義科目を担当している。
経営組織論	専門	2	2	伊藤 葵	長期的かつグローバルな視点で戦略的な日本独自のM&Aをアドバイスする会社に所属していた経験を踏まえ、マクロ組織論およびミクロ組織論の両面の主要な考え方を理解することで、経営組織論の代表的な理論を習得することを目指す講義科目を担当している。
住環境デザインⅡ	専門	2	2	川本 聖一	大手百貨店建築事業部での経験と、大手商社系ホーム建築会社で培った経験をもとに、住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター資格」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指すための講義科目を担当している。
住環境デザイン演習	専門	3	2	川本 聖一	大手百貨店建築事業部での経験と、大手商社系ホーム建築会社で培った経験をもとに、学生が「住環境」の研究や実務に必要なプレゼンテーション手法を習得し、クライアントからのヒアリング能力、クライアントとのコミュニケーション能力も身につけられるような演習科目を担当している。
都市空間デザイン	専門	3	2	川本 聖一	大手百貨店建築事業部での経験と、大手商社系ホーム建築会社で培った経験をもとに、「生活環境論」で学んだ基礎知識が、実社会における法制度や社会システムの中でどのように生かされていくのか、また、住環境関連産業について学ぶとともに、都市計画の制度とまちづくりの手法についても学ぶことができる講義科目を担当している。
会計基礎演習Ⅰ	学部等 共通科目	1	2	佐藤 綾子	大手商事会社と外資系証券会社で勤務し培った企業等会計の知識を活かし、ビジネスにおける重要なコミュニケーション・ツールである財務諸表の基礎となる簿記、特にその基本となる複式簿記を中心に講義し、会計基礎演習Ⅱと連続して開講して日商簿記検定3級の内容をほぼ網羅する科目を担当している。
会計基礎演習Ⅱ	学部等 共通科目	1	2	佐藤 綾子	大手商事会社と外資系証券会社で勤務し培った企業等会計の知識を活かし、ビジネスにおける重要なコミュニケーション・ツールである財務諸表の基礎となる簿記、特にその基本となる複式簿記を中心に講義し、会計基礎演習Ⅰと連続して開講して日商簿記検定3級の内容をほぼ網羅する科目を担当している。
経営分析論	専門	2	2	佐藤 綾子	大手商事会社と外資系証券会社で勤務し培った企業等会計の知識を活かし、企業の経営分析能力を身につけるために、財務情報だけではなく財務情報に影響を与える非財務情報まで視野を広げて分析する必要があり、上場企業を分析対象事例として取り上げ、最初に企業を取り巻く環境分析、定性分析を行う講義科目を担当している。
企業会計	専門	3	2	佐藤 綾子	大手商事会社と外資系証券会社で勤務し培った企業等会計の知識を活かし、ビジネスの言語といわれる会計の基礎知識を習得することで、企業活動を理解し、企業分析の視点の身につけることを目指し、上場企業の財務情報や新聞記事など、リアルタイムな事例を取り上げることによって応用力の向上を図り、ビジネス会計検定2級の内容をほぼ網羅する講義科目を担当している。
管理会計	専門	3	2	佐藤 綾子	大手商事会社と外資系証券会社で勤務し培った企業等会計の知識を活かし、財務会計が企業外部の利害関係者による財務情報の利用を前提としているのに対し、管理会計は、企業の経営管理者の意思決定や業績管理を支援することを踏まえ、企業の経営管理の仕組みと、そこで用いられる会計情報の関係について学ぶことができるよう、企業の管理会計活用事例や、事業計画作成を通じて理解向上を図りながら進める講義科目を担当している。
人工知能とその活用	学部等 共通科目	2	2	新森 昭宏	情報・通信会社において研究開発の勤務経験を持つ教員が、人工知能の基礎概念について学べ、技術動向と活用状況についての理解を深める講義科目を担当している。
情報システム論	専門	2	2	新森 昭宏	情報・通信会社において研究開発の勤務経験を持つ教員が、国家資格である「ITパスポート試験」の「テクノロジー系」基礎理論分野を中心に「情報システム」について学習し、「ITパスポート試験」の受験に必要な知識をほぼ網羅して学習する講義科目を担当している。
情報社会と情報倫理	専門	2	2	新森 昭宏	情報・通信会社において研究開発の勤務経験を持つ教員が担当している。情報化やデジタル化は、業務の効率化や生産性の向上を実現し、産業振興・二酸化炭素排出量削減・高齢化対策などの社会的課題の解決にも資することが期待されており、その一方で、秘密情報・個人情報等の漏洩と拡散、情報の捏造と拡散(フェイクニュース等)、SNSを使った事件(いじめ、犯罪等)などの新たな問題や課題も生まれている中で、「Society 5.0」時代の社会人は、これらの知識に加えて、情報セキュリティや知的財産権についての基本知識を身につけておくことも必要となるため、「Society 5.0」の内容と意義を理解するとともに、新たに生じている問題や課題とその対策について考察・議論する講義科目を担当している。
国際関係論	学部等 共通科目	2	2	渡部 恵子	大手新聞社の国際部に所属し海外の支局長も務めた経験を活かし、国際情勢を読むツールとなる理論の基礎を学び、多くの国際報道に触れながら、身の回りで見起きている事象への洞察力をみがく講義を担当している。

上表は、実務経験のある教員の代表的な科目を列挙しています。

全学共通科目単位数 0

学部等共通科目単位数 8

専門科目単位数 20

現代社会学部 合計単位数 28